

トヨタの環境取り組みについて

～トヨタ環境チャレンジ2050～

2016年11月22日

トヨタ自動車株式会社

環境部 饗場 崇夫



TOYOTA









豊田 佐吉



創業からの理念
自動車を通じて、
技術で社会・産業振興に貢献



挑戦 = チャレンジ トヨタのDNA

1936	1957	1966	1973
AA型トヨタ乗用車	国産乗用車 対米輸出第1号	カローラ モータリゼーション	触媒による 排ガス規制に対応
			

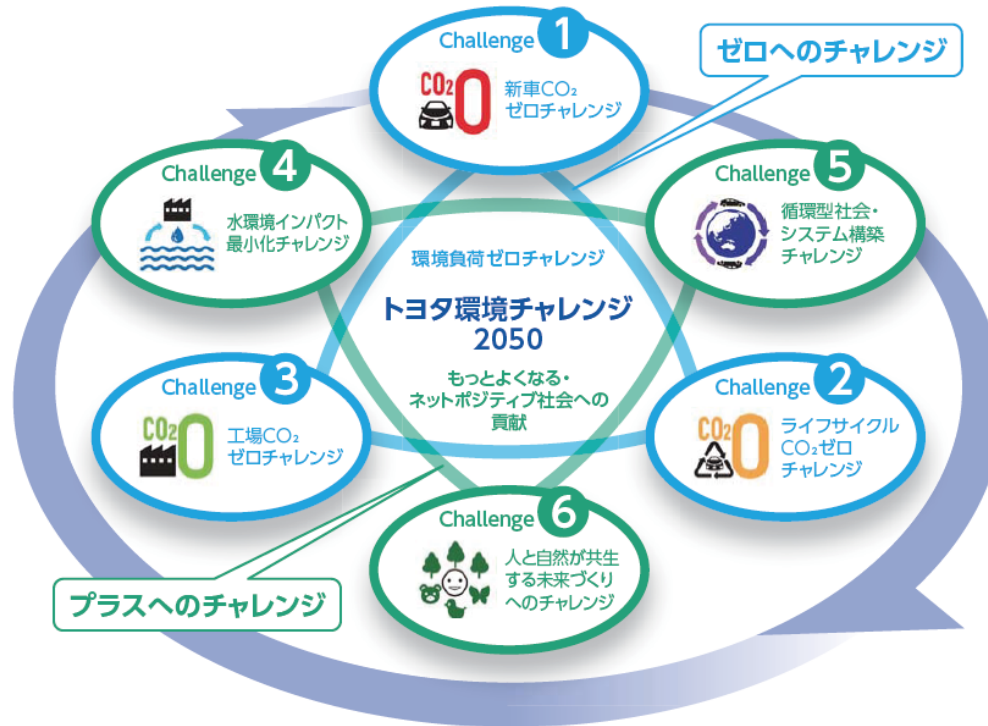
技術で社会に貢献し続ける、
変化を作り出す

1985	1997	2014
北米生産開始	プリウス発表	MIRAI発表
		





「ゼロの世界にとどまらない “プラスの世界”を目指して」 ～Challenge to Zero & Beyond～



次世代の子供たちの為にも
20年・30年先を見据えた長期視点の新たなチャレンジが必要



3つの「CO₂ゼロチャレンジ」と3つの「プラスへのチャレンジ」

ゼロへのチャレンジ



①新車CO₂ゼロチャレンジ

▲90% 2050年

数値目標

次世代車の開発・普及



②ライフサイクルCO₂ゼロチャレンジ

環境配慮設計
～素材から廃棄まで～



③工場CO₂ゼロチャレンジ

2050年 ゼロを目指す

数値目標

徹底した低CO₂革新技術
再エネ導入・水素利用

プラスへの
チャレンジ



④水環境インパクト最小化チャレンジ

徹底的に使用を少なく
徹底的にきれいに



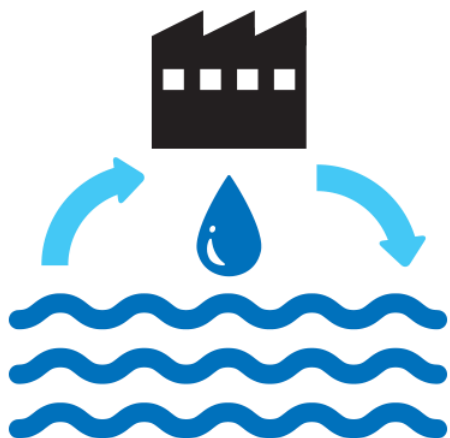
⑤循環型社会・システム構築チャレンジ

資源循環システム
グローバル展開



⑥人と自然が共生する未来づくりへのチャレンジ

オールトヨタ統一活動
活動を社会・世界とつなぐ



チャレンジ4 水環境インパクト最小化 チャレンジ



フランス工場の事例

取水量低減

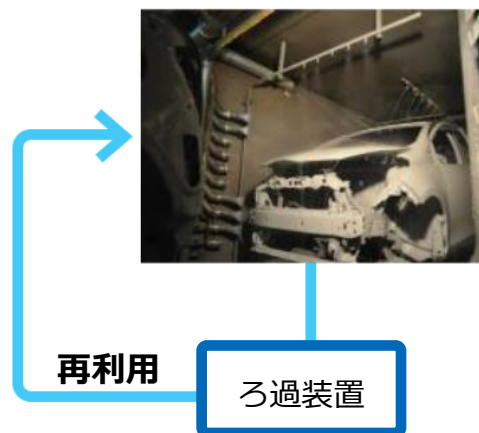
雨水貯留による工業用水利用量削減



工業用水利用量
約45%削減

効率利用（再利用）

濾過装置による水の再利用率向上

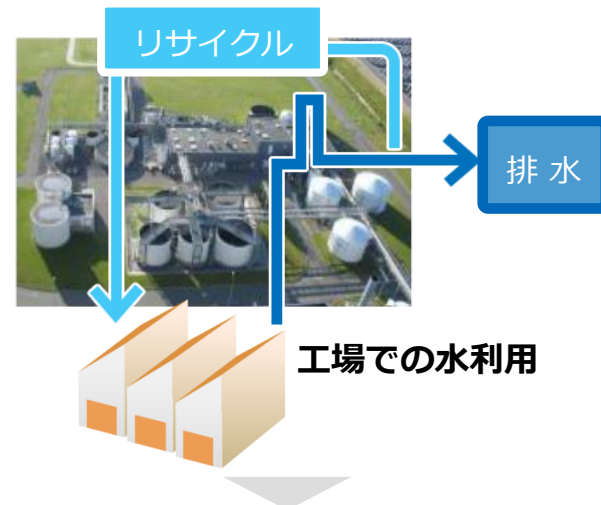


約60%の水を再利用可能
(塗装工程※)

※水の使用量は塗装工程が多い

排水リサイクル

排水リサイクルによる水の再利用



- ・約20%の水を再利用
- ・厳しい自主基準で排水管理

各工程で水使用量削減と再利用技術を導入





チャレンジ6

人と自然が共生する

未来づくりへのチャレンジ



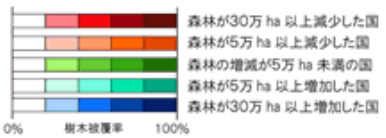
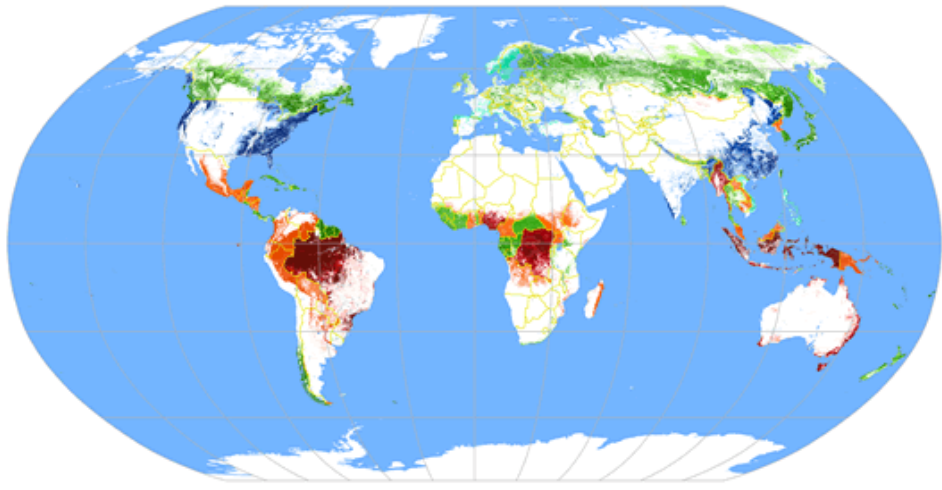


毎年 世界の1%強の森林が減少中 …アフリカ・南ア・アジアでの減少が続く 生物の絶滅が加速 …今後、さらなる加速が予想される

年平均 約520万haの森林が減少

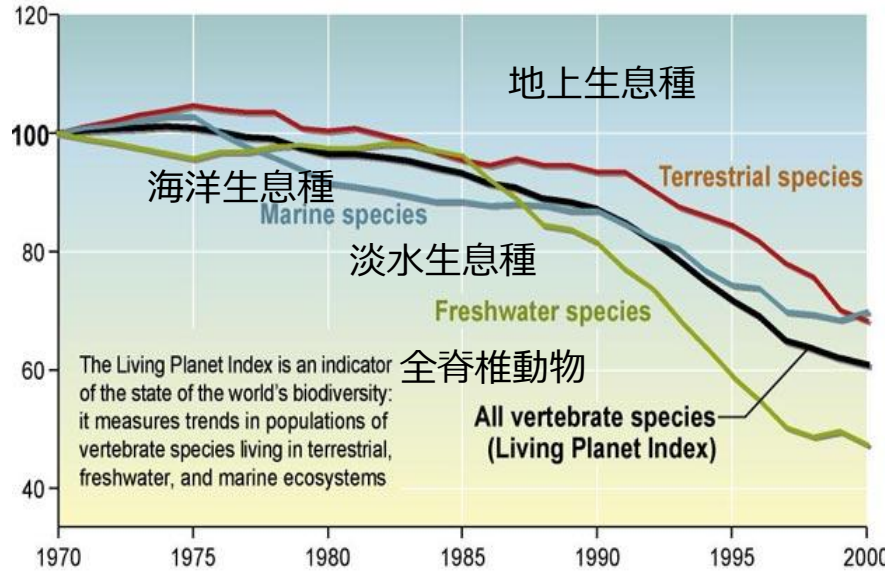
種の絶滅スピードは一層速まる

世界の森林面積の年当たり国別純変化量(2000~2010)



※凡例の濃淡は樹木の被覆率0~100%を表します。
資料提供: 国土地理院(地球地図樹木被覆率、国連食糧農業機関森林統計使用)

Population Index = 100 in 1970





トヨタでは、これまでも各地域ごとの“いい町・いい社会”実現に向け地域特性を考慮した自然共生の活動を長年推進

トヨタの
森づくり



環境教育
貢献

環境活動
助成





これまで進めてきた活動を
更にグループ・地域・団体と連携して活動をつなぎ
活動の輪をさらに世界へ広げる

3つの「つなぐ」プロジェクト

Toyota Green Wave Project

Toyota Today for Tomorrow Project

Toyota ESD Project





Toyota Green Wave Project

工場の森や生息域保全活動の輪を拡げ、グリーンベルトが繋がっていく





Toyota Today for Tomorrow Project

トヨタが団体と先導することで、社会全体を牽引

これまでの活動を更に深堀 “助成予算”を強化し、
新しい価値を協働で産み出す新しいプロジェクトを立上げる



グローバルベース
となる
KPI・標準化開発

Hot Spot

トヨタの
ノウハウのシェア
検討



Hot Spot

データ一般公開や
普及活動

Hot Spot

科学的知見・
データ蓄積に
対する支援



Hot Spot

Hot Spot



Foto by Hernan Povedno

TOYOTA





Toyota Today for Tomorrow Project

IUCN・WWFとのパートナーシップ締結

5月：IUCNとの記者発表（ジュネーブ）

7月：WWFとの記者発表（東京）



「IUCN 絶滅のおそれのある生物種のレッドリスト」の支援・強化に取り組む

東南アジアの熱帯林と野生生物を保全する「生きているアジアの森プロジェクト」開始





Toyota Today for Tomorrow Project

「生きているアジアの森プロジェクト」

東南アジアの熱帯林とそこに生息する生物の保全に向けて、WWFが世界で最も優先して保全すべき地域のひとつに指定している、インドネシア共和国のボルネオ島（カリマンタン）とスマトラ島で活動を開始します。

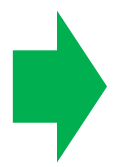
将来は、インドネシアでの活動を踏まえ、メコン地域への活動拡大も検討していきます。

 <p>WWF</p>	<p>WORKING TOGETHER ON BIODIVERSITY & CLIMATE CHANGE</p>	<p>TOYOTA</p>
--	--	----------------------



荒れた熱帯林

©WWF JAPAN



良い状態の自然林

©WWF JAPAN



スマトラトラ ©WWF JAPAN



スマトラゾウ ©WWF JAPAN





Toyota ESD Project

環境も「人づくり」から。地域に適したサステナブル人材育成を促進

トヨタ白川郷自然学校



10周年を機に
こども共育
プログラムに
力を入れる



トヨタ タイランド 新エコラーニングセンター



2016年6月
オープン
環境学習プログラムを
実施

新研究開発施設



事業地の保全活動と
地元中学との環境学習
プログラム実施





自然・生き物があふれ、
子どもたちが輝く社会を。次の世代へ



NPO法人 表浜ネットワーク



ご清聴ありがとうございました

